

令和7年度青森県医療的ケア児保育普及啓発フォーラム【青森】 アンケート結果

- 【開催日時】 令和7年10月6日（月） 13：00～15：30
- 【会場】 ホテル青森 4階 錦鶏の間
- 【参加人数】 41人（会場13人・オンライン28人）
- 【回答者】 22人
- 【アンケート回収率】 54%

1 所属		2 職種		3 講義について	
保育園・こども園	14	看護職	14	理解できた	16
市町村	2	市町村職員	1	ある程度理解できた	6
その他	6	保育士・保育教諭	5	計	22
計	22	保育施設事業者・管理者	1		
▼その他所属		その他	1		
病院		計	22		
訪問看護ステーション		▼その他職種			
介護老人保健施設		障害福祉事業所			
クリニック					
4 事例発表について		5 満足度			
理解できた	20	満足	18		
ある程度理解できた	2	やや満足	4		
計	22	計	22		

6 ご意見・ご感想
医療的ケア児のお話全てが、とても貴重な体験で、現実に見える課題の多さと、自分の経験不足に対する自信喪失感が一度に押し寄せ、不安とどう向き合い、解決していけるのか…。研修の大切さを改めて実感しました。ありがとうございました。
医療的ケア児について、行政、経営者、看護師など様々な角度からの意見を聞くことが出来ました。今回の研修で得た事を今度に活かしたいと思います。
有意義な時間に参加させていただき感謝申し上げます。重度訪問介護事業所としてこれから青森県で何ができるのか考えることができました。課題は多くありますが、各所と連携して解決に繋げていければいいと思いますし、その力の一つになれば嬉しいです。
青森県内での医療的ケア児支援に関する保育園受入れを含めての現状を知ることができました。初めて聞く用語ばかりで、医療的ケア児が在園していないため関心が薄かったと感じてしまい、大変勉強になりました。ありがとうございました。
事例を聞くことで、受け入れについて不安な気持ちが自分たちだけでないこと、皆さん初めはそうだったところから、一歩踏み出してきたことを学び、安心感と勇気をいただきました。ありがとうございました。
希望した時に身近な保育施設に入れるための体制を整える責務があると改めて感じました。園での受入れがとても参考になりました。
医療的ケア児に対してあまりわからない状態での参加でしたが、話の内容も分かりやすく参考になりました。特に受け入れにあたっての事例発表はとても分かりやすかったです。グループワークも様々な立場の方たちと話をすることができ、良かったです。ありがとうございました。
医療的ケア児に関するニュースや特集をしていた際、胸が苦しくなり、最後まで視聴できませんでした。現実から目を背ける結果となり、恥ずかしいと思っていたところ、施設長より本日の研修を受講する機会を与えて頂きました。※看護師を中心として、園内研修を繰り返し行い『理解』を深めていきたいと思います。◇資料・説明が分かり易かったので、今回のテーマだけではなく、怪我まずは研修会の開催にあたり看護協会のスタッフの皆様、お疲れ様でした。私は退職前はNICUや産科病棟に携わっていたため、今後できれば医療的ケア児に関わる仕事でお手伝いしたいと思い、今回勉強させていただきました。課題は山積みではありますが、一刻も早く母子共に安心して暮らせる青森県になりますよう願います。

最後にグループワークがありましたが、何についての話しあいなのか？ 最初分かりずらかったです。テーマももう少し焦点を絞った方が、意見を出しやすいと思いました。あらかじめ研修案内に、テーマを予告、開示するとかすれば、行き当たりばったりという討論の印象を回避できたと思います。多職種間での話し合いだったので、抱える問題は共有できたと思いますが、そこから解決出来たり、次の発展に繋がるのか？を思うと悩み事打ち明けるだけのグループワークだったとの印象が残りました。

医療ケア児の受け入れに関して不安でしかなかったが、こんなにもたくさんの関係機関が関わり支えてもらいながら行っていく事が出来るのだとわかり、少し安心することが出来た。しかし、命を預かるという重みは払拭できず、集団生活を経験させたい・仕事がしたいという保護者の気持ちは重々承知だが、受け入れた際の最悪の場合のことがどうしても頭をよぎる。保護者との共通理解がどこまで出来るのか、何かが起こった時のすべてを園で責任を持つのかという事を考えると安易に引き受けることが出来るのか悩む。障害の重度についても受け入れの判断に大きく左右されると思う。いろいろと考えさせられた貴重な研修でした。ありがとうございました。

私は看護職として、保育園で働かせてもらってます。病棟や外来経験もあり、急変やケアのある方々を沢山見てきました。しかし、そういった環境を経験されてない保育士さん等は、医療ケア児を受け入れるに当たり、不安はかなりあると思います。その方々の恐怖やケア児もおんなじ対象児だよと言った理解を得ていく難しさをとても感じました。しかし、私は、保育園で看護職として仕事をしてきましたが、あまりやりがいを感じていないのが本当の気持ちであります。このお話を聞いて、自分の働く地域には医療ケア児の受け入れ場所は一つもありません。近いうちに受け入れができる保育園ができ、それに携えれば、医療従事者としてやりがいを少しでも持てるのかなぁと思いました。

普段の病院勤務内での研修ではなかなか学ぶことが難しい内容であったため、とても勉強になりましたし、今後の学びの意欲に繋がりました。病院でも看護師不足が問題になっていますが、病院外でも看護ケアを必要とする方々がたくさんいて、もっともっと、地域社会で看護師が必要とされる時代になると思いました。参加された方が発言されていましたが、そのような現状が様々な関係箇所でも共有されていないことが問題だと思いました。今回のような研修をもっともっと多くの方に受講していただき、様々な立場で地域の子どもたち、そのご家族を支えていける社会にしていきたいと思いました。微力ではありますが、私個人でも自己学習を重ね、地域に貢献出来る看護師になりたいと思います。今回は貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

